

2025年5月29日（木）

## テーマ 自然の中で五感をたっぷり感じる



けやき組 28名

自然体験の専門家と過ごす中で、身近な自然の中に新たな視点・発見があることを知り、共に過ごす仲間と関わり合いながら洞察を深めます。自然に対しての興味や関心がさらに深まるような活動として、5月は園のお隣のお寺の森に入り、自然の中で活動をしました。



### 活動のために準備した素材や道具

着替え、救急セット、ティッシュ、カメラ、携帯電話、iPad、ポカリスエット



### 活動の内容

- 9:15 園庭でビーネイチャーのスタッフに挨拶  
準備体操
- 9:30 お寺の池奥へ移動
- 9:40 自然体験の内容説明、注意事項を聞く
- 9:50 池の奥→神社→灯籠裏を通過して崖下へ向かう
- 10:00 説明を聞き、一人ずつロープを使って崖を登る
- 10:40 池の奥に移動 植物を探すミッション
- 11:15 池の奥で集合、ビーネイチャーの方に挨拶、帰園



深い森に入っていきます。

子どもたちの背丈ほどある草木の間をぬって前へ進みます。

「この葉っぱトゲトゲだよ！気をつけて」

「ここに根っこがあるよ」と前に行く人は後ろの人を気遣う声をかけます。

洋服についた植物に気づいた子には「植物はこうやって子孫を増やしていくんだよ」と話をしてもらい、新しい知識や体験を存分に味わいます。

崖上りのやり方をビーネイチャーの方からしっかりと聞く子どもたち。その表情は真剣です。ロープをしっかりと持って、右、左、と手を前へ動かす。手は地面につけない。ロープの手で体を引っ張り、足を前に出す。初めての経験でしたが、「右手！」「足を出して！」と声をかけてもらいながら、一人ひとり、上へ上へと進んでいくことができました。



池の周りに集まって、今度は植物探し。チームに分かれてのチームミッションです。3~4人で構成されたチームで協力しあって植物を探しますが、一人ひとり、自分が見つけたい気持ちが強くて、なかなかチームで一緒に動くことができません。これからけやき組としての活動が増えていく中で、仲間と協力して何かを成し遂げることができるようになっていくことと思います。

### 保育者の気づき

普段列の前に行かない子が前に行き、危ない箇所を張り切って伝えるなど、子どもたちの期待している様子が伝わってきた。崖登りでは自分が登ったら終わりではなく、これから登る友だちにも声をかけて応援する姿が見られていた。怖がらず、挑戦していく雰囲気があり、山の楽しさを皆で感じる事ができたように思う。グループ活動を意識できる子とできない子の差が大きかった。次回の里山では活動範囲が一段と広がる。グループで声を掛け合って楽しめるような工夫をしていけたらいいと思う。

